

ぼくは、お父さんといっしょに広島平和記念公園を歩いて、いろいろな場所を見てきました。

そこには、戦争や原爆で亡くなった人たちのことを思い出す場所がたくさんありました。

まず、爆心地や原爆ドームを見ました。原爆ドームは、爆弾が落ちたあとも残っている建物で、こわいけれど大切な場所だと思いました。

相生橋は、原爆が落ちたときの目印になった橋です。

それから、平和の時計塔や平和の鐘も見ました。鐘をならすと、静かでやさしい音がして、「もう戦争はしないでほしい」と思いました。

ぼくがいちばん心に残ったのは、「原爆の子の像」です。そこには、原爆で亡くなった女の子の像があり、千羽鶴がたくさんかざってありました。

ぼくも家で作った千羽鶴を持って行って、像のまわりにかざりました。「平和になりますように」と願いながら飾りました。

最後に、平和記念資料館にも行きました。そこでは、原爆が落ちたときの写真や、亡くなった人の持ち物が展示されていて、見ていて胸が苦しくなりました。

でも、「こんなことが二度と起きないようにしたい」と強く思いました。

資料館の中は静かで、まわりの人たちも真剣な顔で見ていて、みんなが平和を大切にしたいと思っていることが伝わってきました。

広島では、たくさんの人が静かに手を合わせていて、みんなが平和を願っていることが伝わってきました。ぼくも、これからできることを考えていきたいです。

学校でも、友だちと平和について話したり、千羽鶴をいっしょに折ったりしてみたいと思いました。

この広島での体験を通して、ぼくは「平和って、みんなが笑ってすごせること」だと思いました。これからも、友だちや家族を大切に、やさしい気持ちを忘れずにすごしたいです。